

## 第2回 南知多町立小中学校規模適正化懇談会会議録

開催日時	令和2年7月1日(水) 午前10時～12時10分
開催場所	南知多町役場 大会議室
出席者	参加者：25名 事務局：教育長、教育部長、学校教育課長、指導主事、学校教育課主幹兼係長 オブザーバー：町長、企画部長、教育委員5名
議事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 前回の議事内容の確認</li> <li>3 あいさつ</li> <li>4 南知多町立小中学校規模適正化懇談会の進め方の確認</li> <li>5 南知多町立小中学校の現状</li> <li>6 アンケート・意見交換会の結果</li> <li>7 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校規模適正化の基本的な方針について</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> </ol> <p>(○資料 別添のとおり)</p>
傍聴人	4名

### 内容

<b>1 開会</b>	
事務局	定刻になりました。ただいまから、第2回南知多町立小中学校規模適正化懇談会を開催します。
<b>2 前回の議事内容の確認</b>	
事務局	<p>次第の「2 前回の議事内容の確認」に移ります。</p> <p>お手元に、前回の内容の要点をまとめた議事録をお配りしております。ページ数が多くなっておりますので、特にご自分が発言されました内容について、5分ほどお時間を取りますので、ご確認をお願いします。この会議録につきましても、南知多町のホームページに掲載したいと思います。内容につきまして何かご質問等ありましたらお願いします。</p> <p>何もなければこのままホームページに掲載いたしますのでよろしく願います。</p> <p>本日の懇談会は、25名の方が参加されております。うち、豊浜小PTA、師崎中PTA、豊浜中学校長につきましては、代理の方が出席されております。また、オブザーバーという立場で、町長、町企画部長、教育委員5名が出席しております。</p> <p>続きまして、教育長がごあいさつ申し上げます。</p>

<b>3 あいさつ</b>	
教育長 (あいさつ)	<p>改めましてこんにちは。今日は、ご多用の中、参加していただきありがとうございますございました。前回の会から約1か月経ちました。前回の内容や、事前に送付した資料に目をとおしていただき、各団体でご協議いただけたでしょうか。今日は、場面がありましたら団体のご意見をご紹介していただきたいと思ひます。</p> <p>教育委員会としては皆様のご意見を聴く立場で参加をさせていただきます。参加者の皆さんの活発な意見交換をお願いします。</p>
<b>4 南知多町立小中学校規模適正化懇談会の進め方の確認</b>	
事務局	<p>それでは次第の「4 南知多町立小中学校規模適正化懇談会の進め方の確認(資料1)」に移ります。</p> <p>この懇談会の進め方につきまして、事務局としてはこのように考えているということをご理解いただくために進行表を作成しました。本日の懇談会で、まず、小中学校の現状について事務局よりご説明いたします。そして、この現状における課題、問題点、小規模校のメリット・デメリット等についてご意見いただければと思ひています。そして、課題を解決するための適正規模、適正配置について、事務局の素案をもとに、基本的な方針についてご意見をいただきます。今日は、ここまでを予定しています。</p> <p>第3回目以降に、事務局の素案をもとに、基本的な方針に沿って、具体的にどの学校を、いつ統合し、どこに開設するのか。また、学校統合をする場合や学校統合を選択しない場合の配慮事項についてご意見をいただきます。</p> <p>最後に、懇談会として出していただいたご意見をとりまとめます。このご意見を参考にさせていただき、基本計画の原案を作成します。資料1の裏面については、現段階で基本計画に盛り込んでいく予定の項目です。この件に関して、ご質問はございませんでしょうか。</p> <p>では、「5 南知多町立小中学校の現状(資料2、3)」の説明に移ります。</p>
<b>5 南知多町立小中学校の現状</b>	
事務局	<p>1 小中学校の現状 (資料2)</p> <p>(1) 児童生徒数の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町は昭和36年の町村合併以後、平成20年度に豊丘小が豊浜小に統合、平成21年度に山海小が内海小に統合し、現在は、小学校6校、中学校5校となっています。</li> <li>・過去20年間の児童生徒数の推移は表のとおりです。小学校では、平成12年の48.3%、678人。中学校では、42.1%、359人となっています。</li> </ul> <p>(2) 小中学校の規模の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級数は内海小学校以外、すべて単学級で、複式学級はありません。</li> <li>・1学級当たりの児童生徒数 小学校平均 18人、中学校平均 23人</li> <li>・本町の学級編成の基準は、愛知県の基準に基づいています。</li> </ul>

1 学級の児童生徒数は、小学校 1 年生、2 年生、中学校 1 年生は 35 人以下、その他の学級は 40 人以下です。

### (3) 学校施設の状況

- ・各校の本校舎、特別教室棟、体育館の多くが、昭和 40 年代から 50 年代にかけて建設されています。
- ・学校施設の法定耐用年数は、鉄筋コンクリート増の学校建物は 47 年とされています。表中、色が濃くなっているものが 47 年を経過する建物です。ただし、法定耐用年数を経過したからといって、すぐに危険な状態になっているというわけではありません。
- ・資料 3 参考 建物の建築年、床面積、築年数、建物健全性
- ・耐震安全性については、耐震基準をクリアしています。
- ・健全度は、文部科学省の基準により、屋上防水、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備の劣化の状況を点数により評価します。  
健全度 40 点未満なら優先的に長寿命化改修等の対策を講じることが望ましいとされています。

### (4) 通学状況

- ・通学区域は、「南知多町立小学校及び中学校の通学区域に関する規則」により定めています。
- ・通学条件は、法令上、「通学距離」は小学校で概ね 4 km 以内、中学校では概ね 6 km 以内という基準になっています。  
「通学時間」は、概ね 1 時間以内が目安とされています。
- ・内海小学校区の大字内海地区の一部、大字山海地区の児童、豊浜小学校区の大字豊丘地区の児童はスクールバスを利用しています。
- ・内海中学校区の一部と豊浜中学校区の一部の生徒は、自転車通学をしています。

### (5) 中学校における部活動の状況

- ・各校、3 から 6 部活あります。
- ・部活動数は減少（H17 年度と比較すると、内中：男子バスケ、女子バレー、豊中：剣道、女子バレー、師中：サッカー、女子バスケが減少）

## 2 児童生徒数の将来推計

### (1) 短期的な推計

- ・現在の出生状況から、そのまま小学校に入学することを想定すると、令和 8 年度の小学校の児童数は 498 人で令和 2 年度の 73.5%、中学校の生徒数は令和 8 年度 325 人で令和 2 年度の 90.5%、令和 14 年度は 210 人で 58.5% となり、児童生徒数は更に減少することが見込まれます。
- ・【参考】学校区別年少人口の男女別人口  
師崎小 4 歳児（令和 5 年度 1 年生）3 人、  
師崎小 5 歳児（令和 4 年度 1 年生 男 9 人、女 1 人）  
大井小 1 歳児（令和 8 年度 1 年生 男 5 人、女 1 人）

	<p>(2) 中長期的な推計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の将来人口について、国土交通省国土技術政策総合研究所の「将来人口・世帯予測ツール」を用いて推計しました。</li> <li>・20年後の2040年の0から14歳人口は756人で、令和2年度の約1/2にまで減少する見込みです。</li> <li>・【参考】知多管内の令和元年度小学校別児童数一覧、児童数の多い順に並べた。内海小 63番め、大井小 80番目</li> <li>・中学校 本町の5中学校は33から37番目。</li> </ul>
事務局	<p>ただいま、事務局からたくさんの資料を説明させていただきました。</p> <p>まず、現在の各小中学校児童生徒数の現状や、将来予測により、今後さらに小規模化が進んでいくこと。また、施設のほとんどが昭和40年代から50年代にかけて建設されており、改修あるいは改築が必要であるということです。</p> <p>そういった現状の中で、「児童生徒にとって、どのような学校規模が望ましいのか。」を本日の議事の「(1) 学校規模適正化の基本的な方針について」で皆様のご意見を後ほど伺いしたいと存じます。</p> <p>ここでは、今、説明のあった資料についてのご質問があれば、回答いたします。</p> <p>ご質問はありませんか。</p> <p>ないようですので、</p> <p>「6 アンケート・意見交換会の結果」についての説明に移ります。</p>
<b>5 アンケート・意見交換会の結果</b>	
事務局	<p>学校規模の適正化に関するアンケート調査、地区の意見交換会の結果について報告し、アンケート調査等からの意見・要望で特に考慮すべき事項について確認というかたちで説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 ページ目は、アンケートの調査時期や意見交換会の開催状況について記述してある。</li> <li>・アンケート：保護者 7月実施、対象者 934人回収率 85.2% 教職員 8月実施 対象者 155人回収率 98.7%</li> <li>・意見交換会 10月から11月実施 内海・豊浜・師崎・篠島・日間賀島地区 計5回 参加者 87人</li> </ul> <p>(1) 望ましい学級数</p> <p>① 小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「望ましい学級数」についての回答で、保護者、教職員とも1学年2学級が最も多くなっています。</li> <li>・「複式学級でも良い」は少なく、保護者 8.7%、教職員 2.6%</li> </ul> <p>② 中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「望ましい学級数」についての回答で、保護者は1学年2学級、教職員は3学級以上が最も多くなっています。</li> </ul>

・2学級以上と回答された方 合わせると保護者 58.4%、教職員 81.1%

## (2) 学校統合の必要性

### ① 小学校

- ・「学校統合の必要性」についての回答で、全体では「小学校は統合するのではなく、現行のままだがよい」が最も多くなっています。
- ・しかし、「現行のままでなく、何らかの形で統合を」という回答、つまり、「町内5小学校」、「離島を除く小学校の統合」、「町内1小学校」を合計すると 43.9%となります。
- ・地区別では豊丘、大井、師崎地区では、「一つの中学校区に1つの小学校は残すべき（町内5小学校）が最も多くなっています。

### ② 中学校

- ・全体では、「離島は、通学手段をはじめ課題が多く、まずは、内海中学校・豊浜中学校・師崎中学校の統合をすべき（町内3中学校）が最も多くなっています。
- ・地区別では内海・山海・篠島地区では「現行のままだがよい」が最も多くなっています。
- ・篠島、日間賀島地区では、「離島以外の統合」と「現行のまま」をあわせるとそれぞれ 78.5%、66.4%となっています。

## (3) 中学生の通学について

- ・別冊参考資料1 アンケート調査の調査結果報告書の20ページ  
問21 篠島・日間賀島地区の方に、「中学生が船とスクールバスで学校に通うこと」についてお聞きした回答では、「子どもの体調不良等による学校への送迎を行う場合、保護者の負担が重くなるのが心配だ」、「遅刻・早退などで規定の時間以外の船で通った場合、港から学校までの移動が心配だ」、「強風や霧など天候がわるい時に、船で通学させることが心配だ」という考えが特に多くなっています。

## (4) 学校に求められている役割や機能

- ・「別冊参考資料1 アンケート調査の調査結果報告書」「別冊参考資料2 南知多町学校規模適正化（学校統合）に関する意見交換会報告書」により、多く寄せられた意見等は次のとおりです。

### 小学校

- ・望ましい学級数は「2学級」。理由は、「多くの交友関係の中で、社会性（仲間づくり）が向上する。」「児童同士の間人間関係に配慮した学級編制（クラス替え）ができる。」が多い。
- ・統合の必要性は、全体では「小学校は統合するのではなく、現行のままだがよい」が最も多くなっているが「離島以外の小学校を統合」と「複式学級にならないようにするため、近隣の小学校との統合をするが、1つの中学校区に1つの小学校は残すべき（町内5小学校）」をあわせた方、これは、「離島以外の統合は必要と考える方」と捉えられますが、こちらの方が多

	<p>くなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合された場合に期待する効果（別冊参考資料1 アンケート調査の調査結果報告書 11 ページ間 12）では、「良い意味での競い合いが生まれ、学力・体力・技術などが向上する」「統合しても小規模校であるものの、その良さをいかしたまま新しい友だち関係ができる」「集団活動が充実する」が多い。</li> <li>・統合を検討するとした場合、特に配慮が必要だと思うこと（別冊参考資料1 アンケート調査の調査結果報告書 12 ページ間 13）では、「安全な通学手段（スクールバスの導入など）が多い。</li> <li>・地区の意見交換会での意見としては、「地域を生かした活動により、地域での学び、地域とのつながりが保てる環境」が必要という意見があった。</li> </ul> <p><b>中学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい学級数は保護者は「2 学級」、教職員は「3 学級以上」。</li> </ul> <p>理由は、「多くの交友関係の中で、社会性（仲間づくり）が向上する。」「中学校卒業後の急激な人間関係の広がりにも備えることができる。」が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合の必要性は、離島は通学手段をはじめ課題が多いため、まずは、内海中学校・豊浜中学校・師崎中学校の統合を行うべき（町内 3 中学校）が多い。</li> <li>・統合された場合に期待する効果（別冊参考資料1 アンケート調査の調査結果報告書 171 ページ間 18）では、小学校と同様な意見</li> <li>・統合を検討するとした場合、特に配慮が必要だと思うこと（別冊参考資料1 アンケート調査の調査結果報告書 18 ページ間 19）でも小学校の場合と同じ「安全な通学手段（スクールバスの導入など）が多い。</li> </ul>
事務局	<p>ただいま、事務局から資料の説明させていただきました。</p> <p>事前にお送りしてあります、別添参考資料のアンケート結果や意見交換会での意見などをまとめたものとなります。アンケートや意見交換会での報告書や資料 4 に記載したことについて、何かご質問はありますか。</p>
参加者 A	<p>資料 4 の中学校の望ましい学級数のアンケート結果では、教職員は「3 学級」が多いですが、「3 学級」ということに特別な意味があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>3 学級ですとクラス替えがしやすいことが一番大きな理由かと思います。</p> <p>現状ですと、子どもたちは保育所から中学校までの 12 年間、同じ集団で生活しています。2 学級でもクラス替えができますが、3 学級になるとクラス替えの組み合わせがさらに広がることを期待してのことだと思います。</p>
事務局	<p>他にご意見ありますでしょうか。</p>
参加者 B	<p>このアンケートは、子育て世代の保護者と教職員を対象にしていますが、子どもを対象に行う予定はありませんか。</p>

事務局	<p>保護者アンケートでは、お子さんの意見もお聞きしたいと考え、可能な限りお子さんと相談の上ご意見をお聞かせくださるようお願いさせていただきました。お子さんの声も大切ですが、発達段階を踏まえると広い視野に立って、今の状況を自分で考えることは難しいのかなと考えました。もし「子ども向けのアンケートが必要」というのが会議の中の意見になれば検討したいと考えています。</p>
参加者B	<p>実際に学校に通うのは子どもたちなので、どう思っているのか聞きたいと思いましたが、このアンケートにも反映されていることが分かりました。</p>
座長	<p>私の方から、アンケートに入っていないことについて質問させていただきます。おそらく、アンケートでは、いわゆる正常な発達をしている子ども達、あるいは健康な子どもたちという概念でとらえているのかなと思います。一方で、子どもの福祉という視点で見ますと、いじめとか不登校の発生率あるいは、特別な支援を要する子どもへの配慮が出てこない。文科省で毎年、問題行動のある児童生徒数の調査しています。30年度の統計では小学生で2.7%、144人にひとり、中学生で27人にひとり、いじめは100人に4件発生となっています。こういった統計と比較して小規模校だとどうなのか、安心安全な学校にもつながるのか、アンケートにも「いじめのない学校」という自由記述が多く見られたので、そのあたりの説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>お答えになるか分かりませんが、今回のアンケートは、現状の小規模校の中で学校規模について、どう思われるかをお聴きしたものです。いじめや特別な支援を要する子どもたちの問題は、学校の規模だけでは解決できないと考えていますが、クラス替えができると新しい友だちと出会うことができたりするので、いじめ解消の一つのきっかけにはなるかと考えます。学校の適正化がどの方向になるかは分かりませんが、いずれにしましても、今後の学校運営、教育の中での取組みでいじめを生み出さない学校を作ることが大切だと思います。</p>
事務局	<p>他はよろしいでしょうか。アンケートでは、たくさんの子育て世代の方にお答えをいただきました。意見交換会では、保護者以外にも地区にお住いの方からご意見を伺いました。そういった声を大切にしながら、課題を整理し、「児童生徒にとって、どのような学校規模が望ましいのか。」を本日の議事の「(1) 学校規模適正化の基本的な方針について」で皆様のご意見をお伺いしたいと存じます。</p> <p>それでは、7の議事に移ります。</p> <p>ここからは、座長に進行をお願いします。よろしくをお願いします。</p>
<p><b>7 議事</b> <b>(1) 学校規模適正化の基本的な方針について</b></p>	

座長	<p>それでは、ここから、議事を進行させていただきます。</p> <p>「議事（１）学校規模適正化の基本的な方針について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>ここまでの説明を踏まえていただき、いよいよ皆様にご検討いただきたいと思えます。</p> <p>はじめに、【資料５】についてです。南知多町の学校の現状を踏まえると、いくつかの「課題」が浮かび上がります。</p> <p>事務局からは４点の「課題」をお示しいたします。それらの「課題」に関してご意見をいただきたいと存じます。では、１ページをご覧ください。まず１点目。（１）にあたる部分です。</p> <p>「現状のままだと小学校では「複式学級」が発生するが、解消に向けて手を打つ必要があるか」という課題です。「複式学級」とは、引き続く２つ以上の学年を一つにして編制する学級のことです。現状のままですと令和５年度以降、特に師崎小学校では、愛知県の学級編制基準により「複式学級」が生じます。メリット、デメリットが表のようにございます。その中で、複式学級をよしとするか、避けるために何らかの手を打つべきか、という点に関してご意見をいただきたいです。</p> <p>続いて２点目。（２）中学校についてです。</p> <p>「中学校においても、現状のままだと『小規模な単学級』が継続することになるが、解消に向けて手を打つ必要があるか」という課題です。小規模学級にもメリット、デメリットがそれぞれございます。お手元にありますのは、文部科学省が示しているメリット、デメリットです。</p> <p>『小規模な単学級』をよしとするか、避けるために何らかの手を打つべきか、という点に関してご意見をいただきたいです。</p> <p>３点目は施設における課題です。</p> <p>「現状のままだと、学校施設改修費用が多額になるが、手を打つ必要があるか」という課題です。現段階の予測では、概算事業費が９８億４千万円となっております。ご意見を伺いたいと思えます。</p> <p>最後に、４点目です。</p> <p>「仮に、地区から学校がなくなることで生じるであろう様々な問題（例えば今後の人口減少）をどのように捉え、手を打つか」という点です。子どもにとってはもちろん、地域にとっても学校は重要な意味をもつ、いわば「まちづくりの拠点」です。現在も、各学校は地域の皆様に支えられ、地域と子どもたちをつなげる取組を進めています。そういった学校が統合によってなくなってしまうことは、地域にどのような影響を及ぼすのか。数年先だけでなく、今の子どもたちが大人になり、子どもを育てる世代になるころ、南知多町は、そして南知多町の各地区はどうなっていくとよいか。そういった点につきましても、ご意見をいただきたいと思えます。</p> <p>以上、４点の課題について総合的に考え、資料には「学校規模適正化は推</p>

	<p>進すべき」であり「町政の最重要課題の一つと位置付ける」と挙げさせていただきましたが、この点についてはいかがでしょうか。</p> <p>4点の「課題」について、そして、それらを踏まえた「学校規模適正化の必要性」について、ご検討いただきたく存じます。よろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>事務局よりご説明いただきました。</p> <p>4点の課題について、順番にご意見を伺いたいと思います。</p> <p>まず、複式学級についてです。「現状のままだと小学校では「複式学級」が発生するが、解消に向けて手を打つ必要があるかどうか」、ご意見をお願いします。</p>
教育委員A	<p>意見ではないのですが、先日、地元のPTA理事会に出席したところ、今回の適正化の検討は、令和4年統合を目指しているのか質問を受けました。また、大井小、師崎小の統合と、中学校の統合を一体で考えないといけないのではないかという不安を感じている方も見えたので、その点のイメージを最初に伝えていただいたほうが良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>教育委員会では、小学校と中学校については一体的に考えています。小学校も中学校もどちらも小規模化が進んでいます。とりわけ、師崎小学校については、複式学級の発生も懸念されます。そのため、できるだけ早くそういった状況を解消したいと考えています。具体的な、統合に向けた素案の提案は次回の懇談会でお示しさせていただきます。</p>
座長	<p>他にご意見がなければ次に移ります。</p> <p>同じく、「中学校においても「小規模な単学級」が継続することとなるが、解消に向けて手を打つ必要があるかどうか」、ご意見がありましたらお願いします。</p>
座長	<p>特に、ご意見がないようです。中学校については、単学級となることは課題であることを共通理解したいと思います。</p> <p>他に、ご意見・ご質問ありませんでしょうか。</p>
事務局	<p>資料として、小規模校のメリット・デメリットを事務局ではあげてありますが、実際に、お子様方の学校生活の中でどのように感じているか、同じようなことを思っているということでも結構ですので、自由に意見を言っただけだと思います。</p>
参加者C	<p>自分だけが思っているのかもしれませんが、何について答えて良いかがはっきりしていないように思います。例えば複式学級について、「是か非か」を言えば良いのか。もう少し、明確にさせていただいた方が意見を言いやすくなります。「是か非」を問うなら挙手でも良いと思います。具体的に何について意見をいえば良いのかを示していただけましたら嬉しいです。その辺はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>一つ目と二つ目の課題については、最終的には「是か非か」しかないと思いますので、「是か非か」。それに伴うご意見があれば出していただければ今</p>

	後の議論に膨らみがでるのではと考えます。今のままの単学級で良いのか、小学校は複式学級になっても良いのか、何か手を打つ必要があるのではないかと議論に収束するのではと思います。
参加者C	師崎小学校の複式学級については、避けるべきだと思います。中学校の小規模化については、うちの娘が年少から中3までクラス替えがなかったので、同じメンバーで過ごしています。クラス替えの経験や部活動の幅を広げるために解消してほしいと思います。
座長	同じように是か非かを含めたご意見がありましたらお願いします。
参加者D	平成18年から3期、教育委員を務めた経験があります。統廃合は当初、反対でしたが、山海小と内海小の統合の前に、山海小学校を訪ね子どもを見たとき、山海の女の子がいじめにあって一人だけ浮いていました。その後、子どもの様子を伺いに山海小を3回訪ねましたが、その時も一人ぼっちで寂しそうでした。統廃合後に内海小学校を訪ねたとき、その子も始めはなじめなかったが、子どもというのは順応性が高く、その1年半後に訪ねたとき子どもの姿が全然変わっていて、元気になっていました。統廃合によって一人救われたのなら、その子の生き方が変わることもプラスだと思います。子どもと地域との関わりは、学校の中でも学んでいってほしいが、小規模による統廃合により、クラスの子どもの数が増えることは、よくも悪くも多くの人と関わるといことになります。統廃合の話を推進してほしいと思います。
座長	他にはないでしょうか。 前にお聞きしました問題について整理するのを忘れていましたので、改めて整理します。 小学校については、特に師崎小学校で複式学級が発生してしまう懸念があることが課題であるということ、中学校については、単学級となることは課題であることを共通理解したということによろしいでしょうか。 それではそのように進めていきます。
座長	次に、学校施設の問題です。「現状の学校をすべて改修すると費用が多額になる。また、財政がひっ迫すると、今までと同じような教育費を確保できなくなる」ということについて、学校規模適正化の観点からご意見はありますか。
座長	私の方から質問します。先ほど、施設改修には膨大な金額が必要と説明がありましたが、これは、町としての必要な額なのか、支出の全体額なのかどちらでしょうか。国や県から補助金があるのでしたら、ざっくりで結構ですのでどのくらいか教えてください。
事務協	改修費用に掛かる概算の事業費98億4千万は、事業全体の費用です。学校施設の改修については、国の補助金の対象となり、国庫補助事業として採択された場合には補助金がいただけます。補助率は、施設の長寿命化工事は1/3ですが現実的には国補補助単価で算定されるので、1/3より少なくなります。学校統合に係る施設の改修費用の国庫補助率は1/2となります。い

	れにしても、補助金を有効利用して実施していきたいと考えています。
座長	今の補足説明も受けて、学校施設の問題についてご意見を伺います。いかがでしょうか。
参加者E	統合により、改修するところが減るので、町の財産も減らないということですが、先生も少なくなると思います。それにより、浮いたお金を活用するのか、町の財産とするのかどちらでしょうか。浮くお金があれば、胸張ってハード面は日本一と言えれるくらい投資すれば、統合は進めやすいのかなと思います。
事務局	先生の給料については、愛知県が支出しているので町の財政には関係がありません。学校統合により通常かかる施設の維持管理費が減ります。小学校では1校減ると1800万円くらい少なくなります。縮減できたお金をどうするかについては、教育委員会としましては、教育に投入していただきたいと考えていますが、町全体の財政運営の中で考えていくことになります。
座長	他、財政面について何かありますか。
参加者A	学校統合した場合には、既設校舎を改修して利用するように聞こえます。耐用年数が過ぎていた校舎をまた改修するのでしょうか。せっかく統合するのなら財政的には大きいのですが、新しい学校を整備することも大きな目玉かなと思います。いかがでしょうか。
事務局	新しい学校を建てるのか、既存の校舎を改修するのかということですが、財政的なことで、町全体の問題となります。町財政はご存知のように苦しい状況です。新しい学校を建設する経費と、既存校の改修経費を比較した場合では、既存校の改修の方が財政負担が少ないので、そちらを考えています。
座長	他はいかがでしょう。
参加者C	既存施設を利用するという中で、経費がかからないようにということなら、プールのあるなしの問題は考慮することになるのでしょうか。
事務局	プールのある学校は4か所です。内海小、師崎小、篠島小、豊浜中です。そのうち、師崎小と篠島小のプールは比較的新しいものでありますが、校舎と同じように老朽化が進んでいます、これをすべて改修すると多額の経費が必要になります。将来的には改修せず、プールがある学校に出向くことになります。町内のプールが使えなくなると、他の市町でも行っているように民間のプールを利用することになります。町内には民間プールがないので、町外に行つて利用することを考えています。
座長	財政的な問題についてはいくつか意見があげられました。基本的には、施設の老朽化に伴う改修費が多額になるため財源確保が課題であることを共通認識としたいと思います。 他に、ご意見・ご質問ありませんでしょうか。
参加者F	改修が前提だと思いますが、改修した場合、どれくらい先まで使えるのかある程度は分かるのでしょうか。その状況によっては、新しく建てることも

	考えるべきではないでしょうか。
事務局	現在、教育委員会では、建物の長寿命化計画を作っている最中です。その計画の中では、改修したとしても 80 年で改築を行うという計画を作っています。改修すれば 20 年以上は使いますが、使用しても 80 年というものです。
参加者 F	現状は計画段階ということですか。
事務局	町全体の計画とはなっていません。
参加者 F	比較検討ができる状態ではないということですか。
事務局	新築する費用は試算では、概算で 1 校当たり 30 億円としています。改修費用は、どこまで改修するかによりますが、概算費用の比較はしております。
参加者 F	比較した資料を提示いただけないでしょうか。
座長	事務局で、改修と新築との比較の資料提示を次回お願いします。 他に、改修問題、財政問題についてご意見ありませんか。
参加者 G	改修、改修でお金を使うより新しい学校を作ったほうが良い気がします。改修、改修しても 10 年 20 年先には児童生徒が減少していきます。そのあたりはどう考えていますか。
事務局	改修をし、20 年以上使うという考えです。建築後 80 年がたったら新しい学校を作るという考えです。それまで、持たせようという考えで長寿命化計画を作っています。その費用の比較について次回、概算の資料を提出したいと思います。新しく学校を建設するにしても、最大時の児童生徒数を考慮して建築します。小規模化が進むとしても、それに合わせて、教室数を減らすのは難しいと思います。
教育委員 B	20 年先の人が困らないように、予算は少ないかもしれないがみんなで、考えないといけない。20 年先は関係ないというのではなく、20 年先の子どものために考えていきたいと考えています。
参加者 H	建物のことの議論が多いですが、子どもたちが安全に通れる道とか交通の便とかも重要だと思います。もし、豊浜に統合なら、道路が安全で、ちゃんとした道があれば師崎から自転車で通うことができます。豊丘の中学生は、坂道を自転車通学しています。小学生は危なかつたらバスを使うとか、増やすとかの対策の方が、建物も重要かもしれませんが、重要だと思います。高校生の安全な道が確保されていないので通わせにくい現実があります。中学生なら山道は無理かもしれませんが海沿いなら平坦なので子どもは自転車で来れると思います。
座長	今の発言は、その他の部分ということでよろしいでしょうか。 それでは、財政の問題については、一番多く出たのは、今の説明だけでは分かりにくいのでシミュレーションを出していただくということでしたのでお願いします。
座長	次に、「仮に、学校統合により、地区から学校がなくなることで生じるであろう様々な問題（例えば今後の人口減少）をどのように捉え、手を打つべきか」につきましてご意見をお伺いします。

参加者C	統廃合するとなると必ず廃校するところが出てきます。廃校の跡地利用は日本全国にあり、様々な取組みがなされていると思いますが、町の跡地利用について、この会とは別の会を立ち上げるとか、検討委員会みたいなものをつくる考えはありますか。
事務局	今回の懇談会の中では、跡地の利用については具体的に検討していきません。適正化について決まった後に跡地利用について考えていくこととなります。教育委員会だけのことではなく、町全体の方向性のこととなります。ですので、町の公共施設総合管理計画の問題もありますので、町として跡地の利活用について検討していきたいと思います。
参加者C	町長はどう考えていますか。廃校をどう使ったらうれしいとかありますか。
町長	公共施設総合管理計画を町では策定しています。更新費用の中で一番大きいのが学校施設が11校あることであります。それを今のままやっ払いこうとしたら、何を減らしていくのか、統合していくことで少しでも良くなるのか検討していただいています。言いにくいですが、みなさんのご意見が統合すべきでないという意見でない以上、統合に向かわざるを得ないというのが私の立場であります。ですから、もし統合となり、即廃校になるとその施設は町の経費で維持していかなければなりません。地域の役に立つなら廃校にしないで、地域で管理していくのかも含め、すでに考えなければならぬ段階であると答えさせていただきます。
座長	その他ございますでしょうか。
参加者I	豊浜の方と同じ意見ですが、問題点の1、2、3はアンケートによると2学級、3学級という意見がほとんどなので、学校統廃合については4番の課題だけ解ければ多くの方が賛成すると思います。4番の課題が統合に関しては一番大きな課題と思います。道路も含め、跡地利用も含め、地域に任せるのではなく、町全体で取り組んでいく問題だと思います。教育委員会をこえ町としての取り組みを示していただけたらと思います。そうすると、南知多町は統廃合でこういう町に変えていくということが発信できると思います。地域が利用するなら地域で利用してくださいというのではなく、町として、他の部局を巻き込んだ提案を示していただくと話し合いがしやすいのではないのでしょうか。よろしくお願いします。
座長	今の発言は全体を整理した発言かと思いますが事務局はいかがですか
事務局	おっしゃるとおり、町全体で跡地利用について考えていきたいと思います。
座長	他はいかがですか。
参加者J	6月24日にPTAの会が終わった後にこの件を私から提案し、みなさんの意見をお聴きしました。全部の件に関し、メリット・デメリットがありどちらの意見もでました。アンケートや地区意見交換会での意見と同じ意見

	<p>も出ており、ある程度考えは煮詰まっているのではと思いました。反対の方も根強くいます。賛成の方もいます。なかなか難しい、何がいいのか難しい。先ほど紹介のあった事例は、素敵な事例だと思いましたが、ただ、大きな学校になるといじめがなくなるのかはわからないところです。デメリットも必ず出てくると思います。</p> <p>子どもの意見を聴くというご意見は面白いと感じました。学校のみでなく、子どもたちの学んでいく環境について、子どものアンケートをとっても良いと思いました。ハード面も大事だが、ソフト面も大事で、学校がそこにない人が入ってこない。それをどう考えるかという意見もありました。報告をさせていただきました。</p>
座長	<p>4つの課題について様々な角度から意見が出ました。また、もう少し詳しい資料を出して欲しいという意見もありました。また、プロセスで子どもの参加をどう組み入れるかの課題もあったかと思えます。</p> <p>基本的には、学校規模適正化については進めていくということでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に移ります。事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ただいまご検討いただきました内容を踏まえまして、今後の方針についてまとめましたのが【資料6】になります。</p> <p>3つの視点をお示しし、基本的な考え方をまとめました。本日は、この基本方針についてご検討いただき、次回以降の懇談会において具体的な取組についてご意見を伺いたいと思えます。</p> <p>1つめは、適正規模と考える学級数です。</p> <p>必要と考えるのは、小学校では、少なくとも1学年1学級以上です。複式学級を解消するためです。中学校では、少なくとも1学年2学級以上です。クラス替えが可能になるように、と考えます。さらに望ましい規模として、小学校でもクラス替えが可能で、学年に複数の職員を配置できる1学年2学級以上。また、中学校では1学年3学級以上とします。多くの同級生と学校生活を送り、人間関係を考慮した学級編制を可能としたうえで、充実した特別活動を展開するためです。</p> <p>続きまして、2点目は、適正と考える学校配置です。</p> <p>小学校については、「複式学級を回避しつつ、地域に存置することが必要」とします。中学校については、「小学校より広い通学区域から生徒を通学させることは可能」とします。</p> <p>3点目として、南知多町が目指す学校教育と育てたい児童生徒像です。</p> <p>「郷土に誇りをもち、心豊かに自ら学び、心身ともに健康でたくましい児童生徒」を育成するべく、これまで以上に学校・家庭・地域が連携していく必要があると考えています。</p> <p>以上を踏まえまして、4として、学校規模適正化に関する基本的な考え方を挙げさせていただきます。</p>

	<p>1 点目、義務教育段階の学校は、児童生徒が集団の中で、必要な資質・能力を育むことが重要であること。</p> <p>2 点目、そのためには「一定の規模の児童生徒集団」「バランスのとれた教職員集団」が必要であること。</p> <p>3 点目、同時に、地域の未来の担い手である子どもたちを育む、まちづくりの在り方を具現化する場所として、学校が存在することが大切であること。</p> <p>この基本方針について、よろしくご検討いただきますよう、お願いします。</p>
座長	資料 6 の説明で、4 点意見をいただきたいと思います。まずは、学級数の適正規模についてご意見はありませんか。小学校についてどうでしょうか。
事務局	補足説明します。基本的な方針で、必要な学級数と望ましい学級数と分けました。これは、課題の解決には、小学校では 2 学級以上、中学校では 3 学級以上としていますが、まずは、段階的に考えていこうということです。
座長	小学校、中学校含めまして、いかがでしょう。
参加者 H	小学校中学校を分けずに、小中一貫校という考えはできないかという意見が他のお母さんからありました。そのお母さんは、子どもが何年生かのときに友達と大変なことがあったから、小中一貫校であったら、違う解決方法があったのではないかとおっしゃったので報告します。
座長	他はありませんか。
参加者 K	<p>根本的な質問ですが、島を含めるか含めないかを話さないと、漠然としていてわからない。まず、学校も新しく作るか改修するのも形が決まってからでないといけないと思います。子どもの意見を聴くことは、子どもが通う学校なので賛成です。みんなが他の学校のことは分かっていない。日間賀、篠島はへき地校で小中一貫校についてデータを持っています。島は、小学校、中学校、PTA 学校、教員が連携して島独自のシステムがあります。</p> <p>根本が解決していないのに話が進んでいます。どこまで統合するかを言えば話はわかるが、何を言って良いかわかりません。いろいろな意見の交換会というのはわかるが、決定権がなくて、どこまでくみ取ってくれるかわからない。終わったら教育委員会が答えをくれるわけではない。ベースを作って話をしてくれないと答えられない。</p>
事務局	基本的な方針、小規模化の課題について、このままで良いのかを押さえて、それでは、どうしていくのかをまとめたうえで、具体的な案は次回提案しようと思っています。その中で、篠島、日間賀島についてもどうするかの案をお示しします。
座長	次回に提案するというごことをお願いします。
座長	次に、「適正と考える学校配置」について、小中学校含めて、ご質問・意見がありましたらお願いします。この点については、先ほどの話題の中でかなり意見が出てきたと思いますが、他にありましたらお願いします。
参加者 B	適正化については、小学校では複式学級になるのが一番の問題となってい

	<p>て、中学校では3学級以上欲しいとなると1校にまとめた方が良いということが資料には書いてあるのが分かりました。</p> <p>今回、いろいろな中学校を回ったときに、災害を考えれば「この中学校は高いところにある」というのがわかりましたが、この資料には反映されていません。</p> <p>私は、島の現状も把握できていません。分からないことがたくさんあります。南知多で育っていないので、町で育ったお父さんお母さんの意見をもっと聴くべきかなと思います。実際にその中学校で通った方はたくさんいるでしょうが、違う地域で育った方もいます。地域の伝統もわかりません。そういった中で意見も出しにくいです。</p> <p>私は、財源のことにも関心があります。20年後のことを考えると税収も減るということですが、今、私たちが意見を出して「存続」とした場合、経費がかかってしまうことになり、判断は本当に難しいと思います。町として、税収を見越してこれぐらいになるからこれぐらいの学校数にしたいというのが見えるともう少し考えやすいと思います。</p>
座長	<p>もう少し財政のシミュレーションをした資料が欲しいということですので、次回に示していただきますようお願いいたします。</p> <p>その他、全体を通してありませんか。先ほどの交通の問題も入るかなと思います。</p>
参加者J	<p>複式学級の回避というのは、ならない方が良いということだと思いますが、良い面もあるのかなと思います。</p>
事務局	<p>複式学級のメリット・デメリットは資料5に載せてあります。町には複式学級がないので一般的なことを書いてあります。複式学級がある学校では、先生は、デメリットを克服しようと日々、一生懸命、授業などを行っています。ですので、確かにメリットはあると思いますが、メリット・デメリットを比較した場合、どちらを重視するかの問題であると考えます。町では、デメリットの方が大きいと考え、複式学級は作らないという考えです。</p>
座長	<p>その他ありませんか</p>
参加者E	<p>保護者対象のアンケートですが、島の場合は通うのが一番ネックで反対というものが多くありました。その後、対策を練っていただいて、例えば台風などで船がとまったら、どうなるかというのを示してもらいましたが、そういうことを踏まえてアンケートをもう1回取ってもらえたらどうかと思います。通学のことで反対意見が多いので。</p>
事務局	<p>島の場合は、通学方法が大きな課題であるのご意見をいただいています。そのことに対する対応策を町では考えていますが、必ず実現できるかどうか確実ではないため、こういう対応策を立った場合は、どう思われるかのアンケートなら可能かと思われまますので検討いたします。</p>
座長	<p>それでは、第1回の懇談会の中で教育長より説明がありました、「アンケート結果・意見交換会での意見を踏まえた学校教育の在り方(案)につきま</p>

	<p>して、各団体に持ち帰って、ご意見を聞かれたと思いますのでご紹介をお願いします。</p> <p>ないようですので、それでは、今日の懇談会でいただいたご意見・ご質問を含めまして、次回以降の懇談会では、適正化に向けた具体的な取組みについて、ご意見を伺ってまいります。</p>
<b>(2) その他</b>	
座長	<p>その他について、参加者の皆様、全体を通じまして、ご意見やご質問がありますでしょうか</p> <p>事務局側からは何かありますか。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。途中で発言したいと思いましたが控えておりました。全部網羅することはきかないかと思いますが、今回出ている疑問点等にいくつかは答えたいと思います。</p> <p>まず、いじめ・不登校については、本町は他の市町に比べてかなり少なくなっています。少ないとは言ってもゼロではありません。ゼロではないということは、苦しんでいる子どもたちがいるということなので、何とかゼロにしたい、ゼロに近づけたいと思っています。その中で、いじめや不登校が起こってしまった場合、学級が一つしかない子どもたちの逃げ場がありません。そういうところは早く回避するべきだと個人的には思っています。</p> <p>先ほど複式学級の話が出ておりましたが、教員アンケートの結果を見ると明らかです。圧倒的に複式学級ではよくない、教育のプロである教員の意見では複式学級を避けるべきという意見です。学校現場を良く知っている教員の考えですので、複式学級は避けなければいけないと思っています。</p> <p>施設の改修ですが、新しい学校というのは一つの選択肢ですが、何十億という費用が掛かり、それを次の世代に借金として送ってしまうこととなります。そのことも考えながら進めていかなければなりません。今ある施設の長寿命化工事を行うと20年くらい持ちます。これは、毎年行うわけでないので、支出が抑えられます。この期間になんとか蓄えをして新しいところを準備するという計画です。</p> <p>小学校の統合を特に急いでいるのは、1学級に一桁の人数で生活している状況を早く改善するために、令和4年4月に統合したいと考えています。地域における学校の存在は大事なものなので、この懇談会は9月までしかありませんが、その後は、PTAの方にも入っていただき、統合の準備委員会を、また、地域の方にも入っていただいて跡地利用についても考えていかなければと考えています。</p> <p>小中一貫教育というのがありました。自分も離島の教員生活がありましたので地域の方が一生懸命子どもたちのことを考えてくれるのは知っています。ただ、途中でも出ましたが、人間関係が変わらずの小中一貫校は避けなければいけないと思っています。学年に複数学級の一貫校なら良いですが、一つの学級しかない小中一貫校は、9年間同じ人間関係になってしまうので、</p>

	<p>そういう小中一貫校は個人的には考えていません。</p> <p>どこまで統合するかについては、次回からの課題です。今回までは、漠然としていたかもしれませんが、基礎を固めていただく時間と捉えていただき、次回から思いをどんどんぶつけてほしいです。どこまでの統合かということについては、前回お示しした通り、1中5小、ただし、両島についてはご理解いただければ1中ですが3中ということもありえます。</p> <p>子どもの意見をというご意見がありましたが、お話を聞いていてそうだとおもいますが、中学生や高学年なら、幅広い視野で答えられると思いますが、小学校低学年に聞いても良く分からないだろうなど心配しています。どういう形で子どもたちの意見を取り入れるかは、事務局の課題です。</p> <p>今回の案を出したうえでの島の方のアンケートについては、時間的な制約で令和4年4月を目標とすると難しいかもしれません。この案をもちかえって、団体の皆さんに伝え、各団体としての意見を持ってきていただきたいと思います。</p> <p>「施設を新しくするのもいいが、通学の安全が心配」という意見については、その通りだと思います。その部分も含め今後議論していくことになります。スクールバスをどうするのか、また、海っ子バスの活用をどうするのかを検討し、子どもたちが安全に通える学校づくりをしたいと考えています。</p> <p>今日の話をもとに次回の懇談会の準備をします。資料もできるだけ早く送らせていただきますので話題にさせていただきたいと思います。</p>
座長	<p>事務局を代表して教育長からプランを含めた説明がありました。</p> <p>それでは、進行の方にマイクをお返しします。</p>
事務局	<p>長時間にわたる会議、お疲れさまでした。</p> <p>次回7月27日には、教育委員会の素案による「学校規模適正化の基本方針」により、適正化に向けた具体的な取組みについての懇談会となります。</p> <p>次回の懇談会の開催通知とともに、具体的な取組みを含んだ資料と施設の比較の資料を今週金曜日に発送する予定です。適正化の基本計画の中では、最も重要な事項であります。必ず、事前に確認していただきますようお願いいたします、</p> <p>それでは、本日の第2回南知多町立小中学校規模適正化懇談会はこれで終了といたします。ありがとうございました。</p>